

公益財団法人富山県労働福祉基金 2023 年度事業計画
(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

当法人は、中小企業・未組織労働者を含めた県内勤労者の生活の安定及び福祉の向上に寄与することを目的とし、付加給付に関する事業として「保養施設の利用補助」「プール利用補助」「リフト券利用補助」「保証料給付」「美術館常設展示等鑑賞補助」を行っています。

当法人の収益は基本財産運用益、受取助成金によるものです。事業内容については収入に見合った事業を継続し、県下の勤労者福祉のニーズに応える事業展開を行ってまいります。

なお、「夏季プール」の利用補助事業について、魚津ミラージュランドプール施設（魚津市施設管理公社）から経営環境の変化及びキャッシュレスサービスの普及等による業務見直しより令和 4 年度をもって割引券（補助券）の取り扱いを終了するとの通知がありました。

また、保証料給付事業について、「新型コロナウイルス感染症対策生活資金融資」が 2023 年 3 月末までで終了することから、保証料助成についても 2023 年 3 月で終了となります。

ただし、「プール」利用助成事業については、大沢野ウェルネスリゾートウィンディの利用補助を新規で行います。

付加給付事業については、電気料・燃料費・食材等の価格高騰によって、各宿泊施設において利用料金の値上げが行われており、また、公的宿泊・旅行支援が縮小方向のなかで、利用者の減少が予測されます。勤労者とその家族の利用意欲を少しでも維持し利用促進のため、2023 年度の助成額を 1,200 円とします。また、スキー場リフト利用についても、2022 年には各施設 400 円～500 円値上げを行っており、電気料・燃料費の高騰により更なる値上げも予想されることから、利用者の拡大と負担軽減により 2020 年度までの補助金額@800 円とします。

2023 年度は当法人の認知度強化・利用者が一部の勤労者に偏ることがないように広報活動を強化し、利便性の強化する補助申請のペーパーレス化、また勤労者にニーズに即した事業内容の見直し等を重点課題とし、対応してまいります。

1. 付加給付事業計画

(1) 宿泊（保養）施設の利用補助事業

県内の宿泊施設（保養所）10 施設と契約します。宿泊における利用については一人年 1 回とし、2023 年度は@1,200 円とします。ただし、予算に達した場合は終了とします。

・ゆ～とりあ越中	・グリーンビュー立山	・呉羽ハイツ	・磯はなび
・とやま自遊館	・立山グリーンパーク吉峰	・金太郎温泉	・ひみのはな
・つるぎ恋月	・IOX - ヴァルト		

(2) 「プール」の利用補助事業

プール施設利用補助事業については、新しく大沢野ウェルネスリゾートウィンディと契約し、「利用補助券」を発行し、勤労者とその家族に補助を行います。

なお、太閤山ランド内「プール広場」については、2019 年度から人数制限等によりコンビニによる発券取引の為補助券の取り扱いができませんでしたが、2023 年度については、詳細が未定と

なっています。補助券利用が可能になれば、補助を行います。ただし、予算に達した場合は終了とします。

(3) スキー場リフト券の利用補助事業

スキー場リフト補助券は立山山麓スキー場(極楽坂・らいちょうバレー・あわすの)、IOX-AROSA、となみ夢の平スキー場の利用補助を行います。共通利用券を発行し、一人年1回@800円を勤労者とその家族に補助を行います。

(4) 保証料給付事業

富山県勤労者生活安定資金融資制度「出産・子育て資金」及び「離職者生活安定資金」の借入れの際、保証料(年0.2%相当額)助成をします。

(5) 文化施設の利用補助事業

・8施設の常設展示無料鑑賞券を発行します。

・富山県美術館	・富山県水墨美術館	・高志の国文学館	・高岡万葉歴史館
・富山市郷土博物館	・佐藤記念美術館	・富山市民俗民芸村	・富山市科学博物館

2. 情報提供の積極的な対策

(1) 当法人の付加給付事業の周知徹底を図るため、広報誌「We1」や「基金だより」を事業所や労働組合、福祉事業団体など約350の団体へ発送し、併せて富山市・高岡市勤労者福祉サービスセンター・射水市ゆとりライフ互助会会員への配布を依頼していきます。

(2) 富山県の広報誌「労働とやま」や労福協の機関紙「とやま労福協」に事業内容を随時掲載していきます。

また、ホームページをリニューアルし、まずお問い合わせ機能やマルチデバイス対応(スマホ・タブレット端末用)にします。第二弾として、各補助券申し込みをペーパーレス化にするため電子申請対応に改修し、利用者の利便性とより多くの利用者拡大を図ります。

富山県労働福祉基金ホームページアドレス URL:<http://www.toyama-lwf.jp>

(3) 連合富山、福祉事業団体(労働金庫、こくみん共済coop、春日温泉観光開発株)等の協力を得て事業のPRを行い、ホームページの随時更新による情報提供により、検索エンジンがすぐわかるように広報強化をし、県内勤労者への周知徹底を行います。

また地域ライフサポートセンターと連携し、各種利用補助券の取り次ぎや各労働組合の機関紙への掲載依頼などPRに努めます。

3. アフターコロナに向けて今後の事業展開の検討

(1) 新型コロナウイルス感染症対策・経営環境の変化・キャッシュレス化に伴い、「魚津ミラージュランドプール」の利用補助事業を中止しました。今後の事業推進に向けアフターコロナを見据えた付加給付事業の内容を検討していきます。

損 益 予 算 書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

[単位：円]

勘定科目	2023年度 予算額	2022年度 予算額	予算対比
I一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	669,331	671,767	-2,436
基本財産受取利息（定期預金）	1,220	3,656	-2,436
基本財産受取利息（国債・地方債）	668,111	668,111	0
特定資産運用益	1,066,961	1,066,961	0
特定資産受取配当金	1,066,961	1,066,961	0
受取助成金	4,626,500	4,626,500	0
受取富山県補助金	1,615,000	1,615,000	0
受取市町村補助金	589,000	589,000	0
受取労働団体補助金	2,422,500	2,422,500	0
雑収益	40	30	10
受取利息	40	30	10
(2) 経常費用			
業務委託料	1,686,000	1,686,000	0
印刷製本費	150,000	100,000	50,000
通信運搬費	45,000	30,000	15,000
支払手数料	20,000	25,000	-5,000
広告宣伝費	55,000	23,100	31,900
保養施設利用補助	2,000,000	3,700,000	-1,700,000
プール利用補助	1,000,000	200,000	800,000
スキー場リフト補助	1,200,000	1,350,000	-150,000
信用保証料給付	10,000	20,000	-10,000
美術館鑑賞券補助	200,000	200,000	0
業務委託料	714,000	714,000	0
会議費	80,000	90,000	-10,000
印刷製本費	20,000	5,000	15,000
通信運搬費	1,000	1,000	0
支払手数料	2,000	2,000	0
顧問料	66,000	66,000	0
雑費	90,000	90,000	0
評価損益等調整前当期経常増減額	-976,168	-1,936,842	960,674
当期経常増減額	-976,168	-1,936,842	960,674
当期一般正味財産増減額	-976,168	-1,936,842	960,674
一般正味財産期首残高	303,337,551	303,992,442	-654,891
一般正味財産期末残高	302,361,383	302,055,600	305,783
II 正味財産期末残高	302,361,383	302,055,600	305,783